



とうおん 議会だより

TOON CITY COUNCIL REPORT

- ② 年頭のごあいさつ
- ③～④ 12月定例会
補正予算・質疑
- ⑤ 決算審査特別委員会報告
- ⑥～⑪ 一般質問
- ⑫～⑬ 委員会報告(総務産業建設・文教市民福祉)
- ⑭ 市民との意見交換会
- ⑮ 議場でのミニコンサート等
- ⑯～⑰ 討論等
- ⑱ 表決・議決結果一覧表等

2020年
第56号
令和2年2月1日発行



議場でのミニコンサート



令和2年

謹んで新年のお慶びを申し上げます



議会の果たすべき責任と役割がより重要度を増していくことから、議員一人一人が「行政のチエック機能」であることを常に意識してまいります。

また、地域の皆様の声に耳を傾け、提案を聞き、度重なる議論を経て、市政に反映させていくことで、二元代表制の一翼を担う機関としての役割を果たしていけるものと考え、高い使命感を持って、取り組みを進めてまいります。

皆様には、本市の限らない発展のため引き続きご理解とご協力をお願い申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸せに満ちた年となりますことを祈念し、新年のごあいさついたします。

東温市議会議長 相原眞知子



議長 相原眞知子



副議長 渡部 繁夫

明けましておめでとうございます。皆様方におかれましては、輝かしい希望に満ちた新春を健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。私も議長として集大成の年を迎え、気持ちを新たにしているところでございます。昨年は台風15号、19号等の自然災害によって、広い地域で甚大な被害が発生しました。市議会でも議会基本条例に基づき、大規模災害発生時の市議会としての対応を定めた対応指針の策定に取り組んでいます。また、議会基本条例を検証し、市議会の役割やあり方について議論を重ね、市民に身近な開かれた議会をめざして新たな取り組みを展開しています。昨年11月には常任委員会単位で市民の皆様との意見交換会を実施し、様々な視点から多くの貴重な意見をいただきました。12月定例会開会前には、議場でフルートやオカリナによるミニコンサートを開催いたしました。初の試みでしたが、一人でも多くの方に市議会に足を運んでもらいたいという思いから実施したもので、今後継続したいと考えています。近年の急速な社会情勢の変化に伴い、市

12月定例会

オリンピック聖火リレー 関連予算計上



12月定例会が11月29日から12月18日で20日間の会期で開催された。

今定例会では市長提案の一般会計補正予算等15議案(報告2件、補正予算6件、条例改正等6件、その他議案1件)及び予算3件の合計18議案を慎重に審議した。

また、8人の議員が、一般質問を行った。

補正予算の主な事業

※印は新規施策分

一般会計

議員報酬等

・期末手当支給割合の改定による補正 26万円

職員給与費

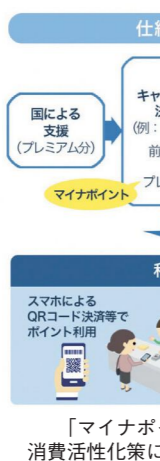
・給与改定、人事異動、新陳代謝及び共済費負担金率の改定等 △1,471万円

個人番号カード利用環境整備事業

・マイナポイントを活用した消費活性化策に向けた準備経費 220万円

国民年金事務費

・税法改正等に伴う国民年金システム改修経費 31万円



「マイナポイント」を活用した消費活性化策について (検討の方向性)

国民健康保険特別会計繰出金

・保険基盤安定事業、財政安定化支援事業における負担金の増額及び職員の給与改定等による国民健康保険特別会計への繰出金 608万円

介護保険費

・職員の給与改定等による介護保険特別会計への繰出金 △29万円

後期高齢者医療費

・職員の給与改定等による後期高齢者医療特別会計への繰出金 3万円

児童福祉一般事務費

・過年度子ども・子育て支援交付金の精算による返還金 270万円

児童相談事業

・過年度児童虐待・DV対策等総合支援事業補助金の精算による返還金 2万円

児童扶養手当支給業務

・法改正(手当支給回数の見直し)に伴う扶助費の増額 2万円

母子父子自立支援事業

・未婚のひとり親に対する臨時特別給付金の支給に要する経費 46万円

水道事業会計負担金

・公営企業職員の給与改定等による児童手当、基礎年金拠出金に対する負担金 7万円

スマートインターチェンジ整備事業

・スマートインターチェンジ用地測量業務に要する経費 2,400万円



(仮称)東温スマートインターチェンジ完成イメージ ※現時点での完成イメージであり、今後の詳細な設計で変更することがあります。

公共下水道特別会計繰出金

・職員の給与改定等による公共下水道特別会計への繰出金 △411万円

適応指導教室運営事業

・適応指導教室の開設に伴うパソコン端末等整備経費 13万円

謹賀新年

皆様のご健康とご多幸をお祈りいたします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

- 伊藤 隆志 山内 孝二
- 大西 勉 安井 浩二
- 近藤千枝美 丸山 稔
- 相原眞知子 森 眞一
- 渡部 繁夫 山内 数延
- 丹生谷美雄 細川 秀明
- 松末 博年 亀田 尚之
- 東村 温輝



◎公職選挙法により年賀状(答礼のための自筆によるもの以外)は禁止されており、議会だより上にて新年のご挨拶とさせていただきます。

小学校施設改修事業

・北吉井小学校特別支援学級新設に伴う教室改修工事費
1,182万円

○オリンピック聖火リレー開催事業

・オリンピック聖火リレー開催に伴う警備等準備経費
266万円

■災害復旧

■公共土木施設災害復旧事業
・台風10号等による公共土木施設の災害復旧費
1,160万円

■国民健康保険特別会計

・職員の給与改定等
8千円

■後期高齢者医療特別会計

・職員の給与改定等
3万円

■介護保険特別会計

・職員の給与改定等
△29万円

・過年度介護給付費国庫負担金等の精算による返還金
4,818万円

■公共下水道特別会計

・職員の給与改定等
△761万円

・公共下水道施設再構築実施設計業務に要する経費
700万円

水道事業会計

・職員の給与改定等
△1,255万円

議案に対する質疑

一般会計補正予算

問 スマートインターチェンジから国道11号にアクセスする間の交差点の安全対策は。

答 スマートインターチェンジから国道美川松山線に入る交差点は本市が、国道森松重信線との交差点は県が、また、国道11号と市道田窪西岡線が交差する田窪交差点と、国道11号と市道牛瀬野田線が交差する北野田交差点は、現在、本市が改良設計を実施中である。

問 スマートインターチェンジの総事業費と、市の負担額は。

答 全体事業費は現在約29億円の予定。東温市の負担は4億4,000万円の予定である。残りはネクスコ西日本の負担となる。

問 マイナポイントとはどのようなものか。

答 消費活性化対策とマイナンバーカードの普及促進を図ること

決算審査特別委員会

委員会での審査概要

○一般会計

問 平成30年度のふるさと納税の収支は。

答 寄附金収入は、471件で1,233万円。

支出は、ふるさと納税の記念品約615万円とクレジット決済手数料等の費用をあわせたと約754万円となり、差引きすると479万円のプラスである。

問 人事評価システム導入委託料とは。

答 平成30年度から人事評価を本格的に運用しており、評価を行うために必要なシステムを基幹系システムに導入して一連の評価業務が円滑に運用できるようにしている。この委託料は人事評価システムのソフト開発費用であり、端末は既存のものを使用する。ランニングコストは年間10万円程度である。

問 紅い雫・さくらひめ生産拡大支援事業とキウイフルーツ生産力強化事業の内容と成果は。

答 県の愛あるブランドである2品目とキウイフルーツの生産拡大



紅い雫とさくらひめ

を図るもので、平成30年度は紅い雫4名、さくらひめ2名、キウイフルーツ3名の農家を支援し、生産拡大を図った。

問 避難行動要支援者名簿の作成及び個別計画策定がなかなか進まないことに対する課題解決に向けての取り組みは。

答 委託先の社会福祉協議会や地域包括支援センター、障害者基幹相談支援センターと連携・協力体制を整備するとともに、危機管理課と協働し、出前講座を利用して積極的に自治会に出向くなどの取り組みをしている。

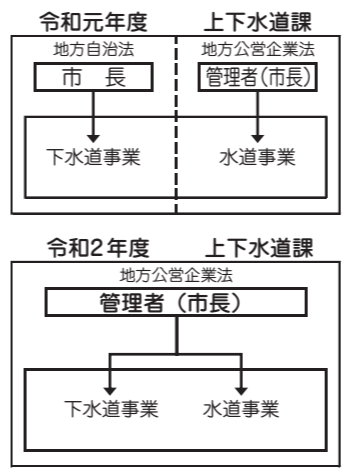
問 避難所関係の資器材購入計画及び保管場所は。

答 平成29年度から令和3年度ま

を目的に、マイナンバーカードを持っていく方に買物で使えるポイントを付与するもので1人当たり最大2万円までのキャッシュレス決済の利用で5,000円分のポイントを付与する制度である。

問 東温市水道給水条例の一部改正の中に「市長を管理者に」とあるがその理由は。また、上下水道課は東温市の組織別ではどのようなものか。

答 東温市水道事業は市長が管理者となっており、地方自治法上の市長と公営企業管理者である市長は異なるため、今回、これを明確にするため管理者に改める。また、上下水道課は地方自治法上の市長部局から離れ、地方公営企業法上の管理者である市長の部局に属することとなる。



での5年間で、400人分の資器材を整備する計画。現在の保管場所はツインドーム、福祉館、清流園、清愛園の4カ所。

◎国民健康保険特別会計

問 国保の被保険者数、世帯数、滞納者数は。また、滞納整理機構へ送る事案はどのようなものか。

答 平成30年度の平均被保険者数は、一般6,906人、退職46人の合計6,952人。世帯数は、一般4,418世帯、退職24世帯の合計4,442世帯。滞納件数は531件となっている。滞納整理機構へ送る事案は収入や財産があることが前提で、滞納額のほか悪質な滞納者など市では対応困難なものである。

問 後期高齢者の被保険者数と滞納者数は。

答 平成30年度の平均被保険者数は、75歳以上5,018人、64歳74歳までの障害認定者が161人で合計5,179人。滞納者数は平成30年度28人。全員賛成 認定

問 さくらの湯の料金改定の要因は。

答 現状と実績を踏まえて大きく5つの理由があり、①光熱水費の増加。②施設機械設備等の修理・修繕費用の増加。③人件費の増加。④近隣温浴施設との競合による利用者の伸び悩み。⑤旧回数券の有効期限延長に伴う売り上げロスである。

このままでは収益向上と管理費の縮減が見込めないことから料金改定を行うものである。

問 (仮称)東温市総合保健福祉センター備品購入契約の締結において6者が入札した中で、予定価格以下が1者であったが、予算価格は何を基準にどのように算定したのか。

答 物品の購入については、設計の基準となる単価がないため見積もり等を参考に積算している。今回の入札は設計業務担当者からの聞き取りと予算要求時に備品を取り扱う業者が提出した見積もり額を参考に、実勢価格を推定した設計書を作成し、その価格を予定価格とした。

◎介護保険特別会計

問 介護保険サービスを利用したときの自己負担2割及び3割負担利用者の人数は。

答 2割負担が96人、3割負担が39人である。賛成多数 認定

◎農業集落排水特別会計

◎公共下水道特別会計

◎水道事業会計

問 平成30年度から上水道と簡易水道を統合し水道事業としているが、統合後1年を迎え経営改善や今後の水道事業計画は。

答 安全な水を安定的に供給するという水道事業の役割は変わりなく、今後も歳出の削減と財源確保により経営改善に取り組む。

今後の事業計画は、東温市新水道ビジョンを踏まえ、耐震性や老朽化の程度、漏水等による顧客迷惑度等を総合的に勘案して実施計画を定める。具体的な計画は令和3年度以降で、次期水道事業計画では、健全経営の観点から、年間事業費の上限を定め事業費の平準化に努める。

委員長 渡部繁大

8議員 市政を問う!! 一般質問

12月定例会

問 住宅開発に伴う、生活道路の修復・改良は市が対応すると思われているが、大部分は開発業者が住宅購入者の持ち分による公衆用道路となっており、こうした市道でない公衆用道路の状況、類似道路への対応、また市としての今後の方向性は。

市道でない生活道路の維持・管理は



伊藤 隆志 議員

問 ①日常生活用具等の給付支援体制は。②災害発生時における障がい者の避難行動計画は。③障がい者に対するごみ収集の取り組みは。

障がい者支援の充実したまちづくりを



亀田 尚之 議員

問 ①中山間地域等直接支払制度に

制度を利用してもらうため、種目ごとに上限額を設けている。高額で利用者負担の大きい種目は近隣自治体との均衝を図り、上限額を定めている。
②避難行動要支援者名簿に登録のある障がい者の23.7%が個別計画を策定している。今後も関係機関や団体、地域の方にも協力をいただき策定の向上をめざす。

問 ①中山間地域等直接支払制度に

ついて、現在加入している割合は、次年度から新制度として加算制度が設置されるが内容は、②次世代人材投資事業の考えは、③ふるさと回帰支援センターへの会員登録による活動は。

丹生谷産業建設部長
公衆用道路のうち、市に帰属され市が管理しているものが42カ所、その他の136カ所は開発業者や個人名義となっている。類似道路の対応事例は、昨年度、工業団地内の公衆用道路において、団地内企業の代表者から申請があり、東温市生活道路整備事業により舗装補修工事を実施した。今後の方向性は、これまでと同様、東温市都市計画法第32条の規定に基づく要綱により、審査等を経て、基準に即した公共施設等の帰属を受けることにより、適正に維持管理を行う。帰属されていない公衆用道路の補修等については、受益者が事業費の10%を負担する東温市生活道路整備事業により対応したい。

丹生谷産業建設部長
①支払制度の対象面積554haのうち473ha、85%のエリアにおいて35の集落が取り組んでいる。棚田加算措置については、詳細は示されていないが10a当たり1万円の支援拡充が新設される予定である。
②後継者育成のための国の次世代人材投資事業は、これまで14名が活用。今後も関係機関が一体となり支援を図り、国に対し予算の確保を強く要望する。市単独での補填措置は今後の検討課題である。
③会員登録により、

丹生谷産業建設部長
①支払制度の対象面積554haのうち473ha、85%のエリアにおいて35の集落が取り組んでいる。棚田加算措置については、詳細は示されていないが10a当たり1万円の支援拡充が新設される予定である。
②後継者育成のための国の次世代人材投資事業は、これまで14名が活用。今後も関係機関が一体となり支援を図り、国に対し予算の確保を強く要望する。市単独での補填措置は今後の検討課題である。
③会員登録により、

問 再犯防止推進計画の策定時期と留置している点は。



劣化が激しい生活道路

加藤市長
「東温市社会を明るくする運動」を推進し、市民へ再犯防止への取り組みに対する理解と、周知並びに啓発を行っている。
愛媛県では本年度中に計画を策定するとしており、本市でもなるべく早く着手する予定。
出所後の支援として居住の確保や就労、就学の支援に加え、地

蜂の巣駆除の対応は
全国的には蜂の巣駆除費の助成等を行っている自治体もある。先進自治体の動向対応を調査研究した上で、予算措置を伴う施策をすべきと考えるがどうか。

上岡農林振興課長
現在7カ所で実施している県営ため池改修工事費が増額した要因としては、事業実施年度の延長や工事用道路の設置などで、今後は事業開始段階においても事業費算定の精度を上げていきたい。

問 ため池改修工事費増額の要因は。

ため池改修
全国規模の移住フェアへの出展や就農セミナー等も可能になるため、登録に向けて検討していきたい。



松末 博年 議員

将来を見据えた 公共施設の管理を

を、令和2年度までの早い時期の策定を求め、本市においてもすでに策定済みの施設を除くすべての公共施設について、令和2年度の策定に向け検討している。公園施設、市営住宅、学校施設の長寿命化計画・橋梁の長寿命化修繕計画等が策定され、計画に基づいた老朽化対策に着手している。

障がい福祉計画・障がい児福祉計画

問 東温市公共施設等総合管理計画における個別管理計画の進捗状況は。

大石副市長

国は、各府省庁から地方公共団体や所管法人等に対し、公共施設の管理計画に基づいた施設ごとの具体的な管理方針を示すための個別施設計画

問 障がい者の重度化、高齢化や親亡き後を見据え、相談緊急時の受け入れ対応等の必要な機能を備えた地域生活支援拠点等の整備の進捗状況は。

安井市民福祉部長

現在、東温市地域自立支援協議会の専門部会において令和2



渡部 繁夫 議員

農業政策は

農地を集積・集約するの話を話し合い、各地域に合った「人・農地プラン」の実質化に向けた見直しを進めることで地域農業の未来が拓かれると考える。

問 高齢者農業の支援として組合組織化、法人化は。

上岡農林振興課長

本市の65歳以上の農家は64%と高齢化が進んでおり、若い農家の育成・確保と事業承継が喫緊の課題である。法人化検討の際には、農業経営者サポート事業などの支援体制を整えている。

問 農地中間管理機構によるほ場整備事業の進捗状況は。

上岡農林振興課長

平成30年度に田窪・北野田地区で事業を立ち上げ、ほ場整備推



耕作されていない農地

進委員会が設置された。本年度より事業採択のための計画業務等を実施している。現在、未相続農地の処理等に時間を要しているが、令和6年度の完成をめざしている。

認定こども園

問 認定こども園移行については、全国では幼保連携型と保育園型が約83・3%であるが、なぜ東温市は幼稚園型を進めているのか。

山本保育幼稚園課長

主な理由の一つとして、事業計画の二

ズ調査において、現在平日に幼稚園を利用している方が23・1%、今後幼稚園の利用を希望している方が50・1%で、現在と比較して2・1倍となっており、潜在的に幼稚園教育に対するニーズが高いことが挙げられる。

場外舟券売り場に関するアンケート

問 重信中学校の保護者に関し、場外舟券売り場に関するアンケートが封筒にも入れず生徒に配付され、保護者も驚かされていたが、アンケート実施についての見解は。

渡部教育委員会事務局長

今回のアンケート調査は、中学校PTAにおいて、役員会における協議・決定に基づき、独自の判断で実施されたものである。

年度末までの整備に向けて協議を進めている。

問 要約筆記者の派遣等（点訳、代筆、代読、音声訳など）、視覚障がい者の方が利用しやすい事業への取り組みは。

丹生谷社会福祉課長

サービス提供者の養成等も含め、今後研究していきたい。



完成間近の福祉の拠点
(仮称) 東温市総合保健福祉センター

多文化共生の社会を

問 外国籍市民への庁舎内での対応体制は。

河端市民課長 来庁する8割以上が技能実習生であり、手続きの際には、通訳のできる関係者が随行するため言葉によるトラブルは発生していない。市民課の手続きが終わると、必要なケースに応じて関係各課へ案内する体制をとっている。
国による外国人労働者の受け入れ拡大政策により、今後も外国籍市民の増加が見込まれるため、関係各課が横断的に連携する窓口サービス向上委員会等で多文化共生の先進地の状況等を調査・研究していく。また、英語だけでなく多言語化の傾向にあることから、対応できる翻訳アプリ等を搭載したタブレット端末の導入等も視野にきめ細やかな市民サービスが提供できるように努めたい。

新たな自主財源の確保を



東村 温輝 議員

問 自主財源をさらに多く歳入することにより、本市独自の手厚い福祉の増進や教育環境の整備さらには舞台芸術やアートヴィレッジ構想においても、潤沢な予算のもと事業執行が可能となると考えられるが、自主財源比率と自主財源についての考えは。

門田財政課長 平成30年度の決算では、自主財源が約66億4,500万円、約41%となっている。地方自治体が行政活動の自主性と安定性を維持するには、自由度の高い自主財源の確保が大変重要であり、財源の確保に向けた取り組みを全庁挙げて実施している。

長寿祝い金

問 長寿祝い金の財源と支給対象者数の推移は。

大西長寿介護課長

高齢者が生きがいを持って生活ができる社会環境を醸成することを目的に、一般財源より、米寿の方に3万円、百寿の方に5万円を支給している。

本年度の支給対象者数は211人で、今後の人口動態から推

移を見込むと、20年後の対象者数は336人と推測している。

いないという考えからすればすばらしいものだと思う。

制服・体操服の購入助成

問 学校制服・体操服の購入助成と業者を通じての中古制服の売買についての考えは。

橋本学校教育課長

標準服や体操服を含む学用品については、基本的に保護者が負担すべきものであると考えているため、入学時における購入助成は、現在のところ実施する予定はない。なお、経済的な事情を抱える家庭等については、就学援助制度の周知や利用案内など、必要な支援を行っている。

中古制服等の売買については、個人の自由であり、使えるものを捨てるのはもった

公園の利活用

問 民間が開催する各種イベント誘致についての考えは。

黒川都市整備課長

スラックライン第1回東温市長杯やオフロードの自転車レース開催等、本市における公園活用の多様化も進みつつある。今後さらに各種イベントが開催されやすい環境を整え、新しい公共施設の活用に取り組みたい。



シクロクロス大会



細川 秀明 議員

にぎわいスポットの 管理・責任・対策

いる。公園の運営管理者は本市でよいのか。

黒川都市整備課長

市内の人気スポットとなったことからごみの不法投棄や排せつ物の処理など衛生上の問題が発生し、地元での対応が困難となったため、市においてごみ処理等を行っている。このことは、周辺の環境保護や地元利用を考慮し行っている。そして、右岸側の高水敷は重信川の流下断面内であることから、公園としての位置づけはなく、管理責任は河川管理者である愛媛県となる。

改良区施設周辺の事故対策は

隣接する菖蒲堰の改良区施設周辺において、飛び込み遊びを繰り返す者が散見される。中には、橋の上からタ

問 重信川上流にある菖蒲堰右岸の河川敷公園は、キャンブやバーベキュー、水遊び等が楽しめる穴場となっている。特に夏場は、延べ1,000人の家族連れが訪れている。ところが、公園周辺での路上駐車や騒音は、地元住民の許容範囲を超えて

イピングする者さえ見られる。事故による管理責任は。

黒川都市整備課長

改良区施設の管理区域においては、施設管理者である改良区に、危険を回避すべき責任が問われることがある。今後は、河川敷の自由使用者に対する安全対策について、地元住民や菖蒲堰の管理者に負担をかけるまいよう、河川管理者とも協議を行い、検討していきたい。

上岡農林振興課長

今後は、菖蒲堰土地改良区連合と管理規程の見直しも協議したい。

市内水道施設の停電対策は

問 昨今、異常気象による停電の広域化や長期化に対する取り組みは。



注意喚起を行っている改良区施設

大森上下水道課長

市内8カ所の浄水場から送られた浄水は、34カ所の配水池に約1万6,000m³が常時貯留されており、平成30年の日平均配水量が約1万m³であることから、停電時にも1日以上配水が可能となっている。また、現時点では施設の耐震化が優先課題とされており、当面の停電対策は、民間の可搬型自家発電設備のリースにより対応したい。



森 眞一 議員

舟券売り場建設に 反対せよ

験者や前教育長、元教育長まで含めて呼びかけ人に名前を連ねてくれた。これが大きな力になって1万2,000筆を超える署名が集まった。市長はこの問題にどう対応するのか。

加藤総務部長

舟券の場外発売場の建設については、今議会に建設に反対する請願が提出されおり、議会での審議結果も踏まえて、総合的に判断したい。

問 舟券売り場建設予定地は子ども

の出入りも多く、こんなところ舟券売り場を建設することは許せない。舟券売り場は、ギャングルであり、博打である。なにより子どもにいい影響を与えることはできない。だからこそ多くの教育経

問 特別養護老人ホームの待機者数は、そのうち、施設入居者と在宅待機者の人数は。

来期に向けて特別養護老人ホーム建設の考えはないのか。

大西長寿介護課長

特別養護老人ホー

ムの待機者数は、介護保険施設入所申込者調査結果によると4月1日時点で108名、そのうち施設入居者からの申し込みが58名、在宅者が50名となっている。

来期に向けての特別養護老人ホームの建設については、高齢化率や介護認定率の推移、施設待機者数及び介護保険料とのバランス等、総合的な観点から検討する。

学校給食費の減額・無償化を

問 臨時や派遣労働など非正規雇用

が広がり、子育て世代の生活も大変な時代になってきている。学校給食費を1食100円減額したり、第3子以降の無償化等を実施することはできないか。



学校給食費の助成を

令和元年5月1日現在の対象者数、単価等をもとに試算すると1食100円の減額を行う場合、市の負担額は、小学校・中学校あわせて約4,873万円。

第3子以降の無償化を行う場合は、小学校・中学校あわせて約1,281万円となる。市としては、本市財政への影響も考慮する必要があるので、また、学校給食法第11条で学校給食費は保護者の負担とすることから、現時点で実施することは難しい。

SDGs(エスディージーズ) 持続可能な開発目標の 具体的な取り組みは



丸山 稔 議員

ち・ひと・しごと創生総合戦略の策定作業中であり、持続可能な地域社会の実現に向け、SDGsの理念、目標等を戦略に反映させることを策定方針に盛り込んでいる。策定作業においては、SDGsにうたわれている17の目標を東温市の課題に置き換え、現行の総合戦略掲載施策との対照を行い、これまで以上にオール東温の姿勢で取り組んでいく。

池川教育長

SDGsを実現するため、持続可能な開発のための教育(ESD)は非常に大切であると認識している。現在、総合的な学習の時間などでごみ問題や地球温暖化問題等をテーマにして、自分達に何ができるのかを考え、行動することに取り組んでいる。今後は、ESDの

障がい者自立支援の充実を

問 地域生活支援拠点の整備強化と充実について、市の現状と今後の方向性は。

現在、建設中の(仮称)東温市総合保健福祉センターは、本市の保健・子育て・高齢者・障がい者介護・



SDGsのトレードマーク

貧困・特別支援教育・学習支援等の業務を集約し、市民の広範な生活課題に的確に対応するための基幹施設と位置づけている。今後、地域の包括ケアシステムの中で、それぞれの連携をさらに強化し、障がい者の支援体制の充実強化を図っていく。

丹生谷社会福祉課長

あいサポーター運動は、障がいのある方に対して、ちょっとした手助けや配慮を実践することにより、障がいのある方が暮らしやすい地域社会をつくらせていく運動であると認識している。導入については、先進事例等を調査、研究していく。

総務産業建設委員会

委員会での審査概要

◎東温市一般会計補正予算

問 公共土木施設災害復旧費補助金の根拠は。

答 河川災害復旧工事3件の工事請負費840万円のうち3分の2が国庫補助金である。

問 マイナンバーカードの取得率は。

答 10月末現在で、東温市のマイナンバーカード交付枚数は、4,508枚で、取得率は13.12%となっている。

今後もマイナンバーカードとマイナポイント制度の普及促進を図りたい。

問 スマートーC用地測量委託は年度内に完了するのか。

答 主に現地での用地境界立会や資料作成を行う。土地所有者との調整結果により、繰り越す可能性がある。

問 河川災害復旧について原形復旧の工法は。

答 部分的に被災した河川護岸を原形復旧する。工法は、環境に配

慮した練石積工法を採用する。

全員賛成 原案可決

◎東温市公共下水道事業等の地方公営企業法の適用に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について

問 東温市部設置条例の一部改正における下水道課の組織上の位置づけは。

答 令和2年度から下水道事業が市長部局から離れ、水道事業とともに公営企業としての管理者である市長直属の組織となる。

全員賛成 原案可決

◎東温市職員の給与に関する条例の一部改正について

問 一般職員の期末勤勉手当は。人事院及び県人事委員会勧告で今回は若年層職員に重点を置いた改訂がなされ、本年度6月期の勤勉手当は支給済のため、12月期で100分の5を引き上げる。来年度以降は6月期と12月期の支給を均等とするため100分の2・5の調整を行う。

全員賛成 原案可決

文教市民福祉委員会

委員会での審査概要

◎東温市一般会計補正予算

問 年金システム改修について詳細な説明を。

答 令和元年10月に国から通知があり3つのシステム改修を予定。1つ目は税法改正による保険料免除に係るシステム改修13万2,000円、2つ目は産前産後免除に係る届出書の電子媒体化8万8,000円、3つ目は年金生活者支援給付金の所得情報のデータ対応として8万8,000円となり、合計30万8,000円となっている。

問 未婚の児童扶養手当受給者に対する臨時・特別給付金の具体的な内容は。

答 児童扶養手当を受給している未婚のひとり親に給付するもので、給付額は、対象者1人につき1万7,500円の26人分、45万5,000円を計上している。

未婚のひとり親に対しては、これまで寡婦（寡夫）控除の適用はなかったが、令和2年度の税制改

◎東温市ふるさと交流館条例の一部改正について

問 今年度、来年度の入館者数・売上の見込みは。

答 令和元年度は、入館者27万8,422人。売上は1億1,999万6,000円で、経費を引いてマイナス768万5,000円の見込みである。

令和2年度の料金値上げ後の見込みは、入館者が8%減少を想定し、25万6,148人。売上は1億3,504万8,000円で、経費を引いて151万8,000円の純利益を見込んでいる。

全員賛成 原案可決

◎（仮称）東温市総合保健福祉センター備品購入契約の締結について

問 市内業者の入札がなかった理由は。

答 1,000万円以上の入札のため指名競争入札ではなく一般競争入札で実施。入札参加資格要件として過去に同様物品の納入実績等の条件付きで公告。規模の大きい物品の入札であったことから、結果、市内業者がいなかった。

全員賛成 原案可決

答 消防法や建築基準法において1カ所で問題ないことを確認した。教室を使用する児童は肢体不自由のため、安心、安全について配慮したい。

全員賛成 原案可決

◎国民健康保険特別会計補正予算について

問 医療給付費分現年課税分減額と関連する歳出の説明を。

答 保険税の軽減対象となる世帯と被保険者数の増加により、歳入の国民健康保険税が606万9,000円減額となる。保険基盤安定や財政安定化支援事業を一般会計から繰り入れ補填するため、財源が変更になる。

全員賛成 原案可決

◎東温市介護保険特別会計予算について

問 医療職1名の業務内容は。

答 保健師で、地域ケア会議等に参画するなど専門的な業務を行っている。

全員賛成 原案可決

◎東温市附属機関設置条例の一部改正について

問 児童発達支援を実施する者の選考に関する事項の内容は。

答 関係事業の専門家を委員に選任し、現在策定している事業計画（案）について、内容等詳細を

◎日米FTA交渉は中止し、日米貿易協定の国会承認は行わないことを求める請願について

日米貿易協定は12月4日に参議院で承認され、令和2年1月1日から施行される。問題も抱えているが、農産物の輸出強化の施策もある。この交渉から逃れることはできない等の意見が出た。

賛成者なし 不採択

【委員長 近藤千枝美】



災害復旧工事現場の視察（上林）

審議いただくとともに、児童発達支援を実施する事業者の選考方法や選考基準等を策定するものである。

問 選考委員会の審議内容等について機会を設けての説明は。

答 条例改正に伴い東温市児童発達支援事業者選考委員会規則を制定し、選任した委員により順次事業計画（案）等について審議するので、内容等改めて議会に報告し、理解をいただながら進めていく。

全員賛成 原案可決

【委員長 松末博年】



委員会での審査状況

市民との意見交換会
(総務産業建設委員会)

令和元年11月7日(木) 午後6時から奥松瀬川公民館において「中山間地域の抱える問題点と今後の展望」をテーマに総務産業建設委員会主催の市民との意見交換会を開催した。

奥松瀬川創生会議、元地域おこし協力隊員、区長ほか奥松瀬川での地域活動に関わっている方々にご参加いただき、活発な意見交換ができた。

4つの議題について伺った意見は次のとおり。

①「奥松瀬川地域の10年間の取り組みと実績」では、地域住民が集まれる場所として古民家を再生しほっこり奥松を設置。耕作放棄地対策として、ぼんぼこ農園19区画を整備した。毎年9月に収穫祭を開催するなど、活発な公民館活動を展開している。地域外からの交流人口も増えてきている。

②「課題と問題点」では、創生会議メンバーが高齢化してきており今後、継続した活動のために若い人材が必要。移住希望者はいるが、貸してもらえない空き家がない等の問題がある。

③「今後の展望」では、森林整備として自伐型の林業や人材育成。高齢者と障がい者に優しい福祉農園、ワイナリー、柚子の産地化、森の幼稚園などの地域の将来ビジョンを考えている。

④「地域おこし事業に関する要望事項」では、地域おこし協力隊員募集について事前の十分なディスカッションが必要。3年間の協力隊員として活動終了後の対応等について要望が出された。

参加者のアンケートには「地域の活動、悩み等を知っていただきよかった」「活発な議論ができた」「各種補助金の設定と増額を望む」等の感想・ご意見をいただいた。

【委員長 近藤千枝美】



奥松瀬川地域のみなさんとの意見交換会

市民との意見交換会
(文教市民福祉委員会)

令和元年11月15日(金)、中央公民館において、「東温市の子育ての充実」をテーマに意見交換会を開催した。

今回の意見交換会は、委員会の活動の一環であり、東温市の子育ての充実を図ることを目的に子育てに係わる保護者の方をはじめ先生や、子育て支援に関係する方の声を委員会活動に反映するため、意見交換会というよりも、現場の現状把握や意見聴取の趣が強かった。

テーマごとに意見が出され、「放課後児童クラブ」では、地域により児童が大きく増加しているという現状や、放課後児童クラブは高学年に必要か、登録基準は適切なのかとの声が上がった。

「保育所・幼稚園」に関しては、保育所入所希望者の増加と幼稚園希望者の減少問題、保育所の入所基準問題、志津川土地区画整理事業などを含めた先を見越した計画が不十分ではないか。認定こども園の議論はなぜ起きたのかなど多くの現場の声が届けられた。現場の声を聞いた参加者からは、

市民との意見交換会

先生の仕事の負担を減らせば、子どもにも有益。幼稚園の受入開始時間では働く人には難しい。先生は頑張っているが、その対価は適正なのか。先生のライフワークバランスをなど多くの意見が出された。

そのほかにも、川上小学校通学路の安全問題・中山間地域の小学校のバス通学についてなどの意見が出された。

回収したアンケートも、「現場の声、参考になった」「意見交換会よかった」「市民の声にじっくり耳を傾ける議会(委員会)でいてください」「本場に必要なのための施策を」「親の為ではなく、子どものための施策を」など多くのご意見が寄せられた。

【委員長 松末博年】



子育てに関係するみなさんとの意見交換会

議場でのミニコンサート

11月29日、第4回定例会開会前、議場に登壇したフルートの音が響き渡りました。

東温市議会では、平成28年3月に策定した議会基本条例を検証する中で、「本会議場を活用して市民に身近で親しまれる議会に資する行事」の一つとして今回議場コンサートを初めて実施しました。

演奏していただいたのは、東温市民吹奏楽団の指揮者として活動しながらフルート、オカリナを演奏され地域のイベントに参加したり施設等でボランティア活動をされている近藤亨さん、団員でフルート奏者の八木美帆さんと濱田千沙都さんでした。



演奏曲は、①花は咲く ②この街で(オカリナ演奏) ③情熱大陸 ④ふるさと(全員の合唱)の4曲で20分程度でした。

特に最後の「ふるさと」の合唱は、傍聴の市民、市長執行部、議員がフルートに合わせひとつになつて、今までに経験したことのない和やかな議場の雰囲気をつくりあげていました。

演奏終了後、議会は穏やかに緊張感をもって開会が宣言されました。

議場コンサートは、松山市議会今治市議会等も実施しておりますが、今回の素晴らしい演奏を踏まえ、「市民の皆さんによる東温市らしいコンサート」を続けていきたいと考えています。

今後、議場の活用等により、多くの機会を提案し、市民の皆さんに議会に関心を持っていただき、議会の傍聴や市民との交流等がさらに深まるよう努めてまいりますので、市民の皆様のご参加、ご提言をよろしくお願いいたします。

議会運営委員会
委員長 山内孝二

閉会中の主な議会活動

令和元年9月
26日 議員全員協議会
議会運営委員会

令和元年10月
1日 議会改革特別委員会
議会運営委員会

7日 議会運営委員会
議会だより編集委員会

9日 議会だより編集委員会
議員全員協議会

16日 議会だより編集委員会
議会だより編集委員会

17日 決算審査特別委員会
(総務産業建設分科会)

18日 決算審査特別委員会
(文教市民福祉分科会)

21日 議会だより編集委員会
議会だより編集委員会



決算審査特別委員会 (後期全体会)

令和元年11月
5日 決算審査特別委員会
(後期全体会)
議員全員協議会

総務産業建設委員会
文教市民福祉委員会

議会だより編集委員会
議会改革特別委員会

6日 議会改革特別委員会
総務産業建設委員会

7日 総務産業建設委員会
(市民との意見交換会)

15日 文教市民福祉委員会
(市民との意見交換会)

22日 議会運営委員会
議会改革特別委員会

27日 議会改革特別委員会

議会報告会を開催します

日時：令和2年4月23日(木)
午後7時30分開会
場所：中央公民館大ホール
1部：3月議会についての報告
2部：講演「議会のあり方」
講師：松山大学法学部 妹尾教授
3部：参加者との意見交換

議場でのミニコンサート等

「(仮称)ポートレーススケッチショップ東温」 調査検討特別委員会

令和元年12月定例会において、議長を除く14人の委員で構成される「(仮称)ポートレーススケッチショップ東温」調査検討特別委員会を設置した。委員長は伊藤隆志委員、副委員長は丸山稔委員に決定した。

12月16日(月)委員全員及び議長出席のもと特別委員会を開催し、「請願第4号 東温市への場外舟券販売場建設に反対する請願書」及び「請願第5号 東温市への場外舟券販売場建設に反対する決議を求める請願」の2件について審査を行った。

なお、2件の請願は同一趣旨であるため、委員会に諮り一括して審査を行った。

まず、請願紹介議員3名から説明を受けた後、各委員からそれぞれ意見を聴取した。

請願に賛同する主な意見は、
①既に運営している同様の施設を視察したが、この事業が地域の活性化に結びついているとは思わなかった。
②青少年の健全育成に悪影響を

与えると思う。

③舞台芸術の聖地をめざす観点から、この場所への設置はふさわしくない。

④一企業の経営方針によって、多くの市民が不安になるようなことには賛同できない。

一方、請願に賛同できないとする主な意見としては、

①民間企業が生き残りをかけた新規事業であり、同時に地域の活性化にもつながっていくのではない。

②東温市の財産である坊っちゃん劇場を存続させ、今後も文化芸術の発信基地としていくには、周辺地域のにぎわいは不可欠であり、再開発計画には一定の評価を下すべきである。

③財源の確保になると考えられるので、本請願には賛成できない。

④市長の判断が出される前に、この請願を採択すること自体に反対。採決の結果、請願第4号及び請願第5号は、賛成少数で不採択となった。

【委員長 伊藤隆志】

反対討論

森 眞一

建設予定地には、坊っちゃん劇場やアートヴィレッジセンターがあり、学生が多数出入りする場所がこのような施設ができるのは教育環境上よくない。教育長経験者2名や多くの教員退職者だけでなく、保護者までが反対に立ち上がった。すでに1万7,000筆を超える署名が提出されている。署名の持つ意義を重く受け止めるべきだ。舟券売り場は、ギャンブルであり、博打である。年間売り上げ金額が30億とすると顧客の掛け金の25%、年間7億5,000万円の利益が出る仕組みだ。ギャンブル依存症で借金を抱え、家や畑を売る人が必ず出てくる。東温市の品格、価値を守るため絶対に中止すべきだ。

賛成討論

束村 温輝

いかなる反対活動への賛同も活動も行わない。なぜならば、反対活動からは憎悪や憎しみといった負の要素しか生まれず、その憎しみがさらに憎しみを生み、負の連鎖となるからである。過去に囚われていたドリームキラーでなく、私はドリームサポーターになりたいと心掛けており、企業や個人の時間と資産を差し出し、決断して行動、そして変化しようとしている挑戦者への妨げ行為である反対活動には賛同できない。他者のコンフォートゾーンを理解し、舟券売り場に近寄らない関わらない選択もしくは、全ての新しい人・モノ・金・情報・思考に対し思いやりをもって、特別委員会の不採択決定に賛成する。

委員会審査結果 **不採択**

討 論

第4号 東温市への場外舟券販売場建設に反対する請願書

第5号 東温市への場外舟券販売場建設に反対する決議を求める請願

反対討論

安井 浩二

日本は法律で、賭け事は禁止されている。私たちが賭け事をするると賭博罪で罰せられる。(仮称)ポートレーススケッチショップ東温の施設運営は特別法「モーターボート競争法」により行われる。大人の都合で特別法はつくられている。子どもには、だめなことはだめだと教育すべきではないか。子どもに特別法などという例外を教え、育てる必要はない。

日本が1994年に批准した児童の権利に関する条約の第17条「国は、子どもに よくない情報から子どもを守らなければならない」とある。設・情報である。

賛成討論

大西 勉

委員長報告に対する賛成の立場で討論する。レスパスコーションが管理運営している関連会社は、坊っちゃん劇場やアートヴィレッジセンター、利楽、テナントにはフジやダイソー、マクドナルド等がある。当企業は、何よりもそこに働く人たちの仕事と生活を守る為に、経営の改革を図り日本財団などが統括する「ポートピアを含めた複合施設」の建設を計画した。ところが、設置に反対の市民団体が、具体的な論拠を示さず、職業への蔑視と、そこで働く人たちへの差別意識を助長するような激しい反対運動を起した。私はポートピアを有益な「地域資源」として捉え、まちの活性化の為に活用していくべきだと考える。

反対討論

松末 博年

子ども・子育て関連3法の制定により、子どもの最善の利益が実現される社会をめざしている。本市は、子どもの健やかな育ちと保護者の子育てを社会全体で支援し、環境整備を目的にさまざまな施策をとってきた。

子どもの健やかな成長を阻害する恐れや、子育てをする保護者に不安をもたらす施設、多くの教育関係者が反対する施設は東温市には不要。教育に携わってきた人の声を無視できるのか。人の幸せには、経済的豊かさ以上に精神的豊かさが必要である。東温市の素晴らしい教育環境を次世代に渡すことが、我々の責任であると考え、(仮称)ポートレーススケッチショップ東温の建設に反対する。

賛成討論

渡部 繁夫

場外舟券販売場建設には、国土交通省の認可要件の一つとして、地元自治体の賛成が必要であり、すでに見奈良地区の70%の区民が賛成している。建設反対の請願では「計画地は文教地区であり、施設は生活環境を破壊する」と言われているが、これは憶測でしかないと思う。現在、全国78カ所の舟券販売場が開業されているが「青少年に悪影響はない」と聞いている。

この度の再開発計画は、囲碁、将棋、健康麻雀教室も併設される。東温市にとって舟券販売場は、交流人口を増やし、利益を生み出すだけではなく、地域に多くの雇用を創り出す。雇用創出型の企業誘致は東温市にとって大切なことである。

賛成討論

山内 孝二

東温市の場合、この案件は市長が企業誘致として政策を打ち出したものでもなく、議会が自ら新しく設置しようと検討しているものでもない。

地域貢献している既存の民間企業が何年もかけ課題対策を練り、地域活性化にも寄与できると地元自治区に示し、一定の賛同を得たという「合法的な手続き・手順」を踏んで進めているこの「経緯・プロセス」は尊重されなければならない。今後、市長の判断、直視し対応しなければならぬ反対運動、問題対策の検証、国土交通省の厳しい申請許可等のハードルの前のこの段階で、議会がこの芽を摘んでしまつては、今後のまちづくりには重大な課題を残すことになる。



議案等議員別表決・議決結果 一覧表

○：賛成 ×：反対 可：原案可決 否：否決 認：認定 採：採択 不：不採択

令和元年第4回定例会(12月)	総務産業建設委員						文教市民福祉委員						議決結果			
	近藤千枝美	丹生谷美雄	伊藤隆志	山内孝二	大西勉	相原眞知子	山内数延	束村温輝	松末博年	亀田尚之	安井浩二	丸山稔		相原眞知子	森眞一	渡部繁夫
認定第1号	平成30年度東温市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認
認定第2号	平成30年度東温市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認
認定第3号	平成30年度東温市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定第4号	平成30年度東温市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	認
認定第5号	平成30年度東温市農業集落排水特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定第6号	平成30年度東温市公共下水道特別会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
認定第7号	平成30年度東温市水道事業会計決算認定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認
議案第52号	令和元年度東温市一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第53号	令和元年度東温市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第54号	令和元年度東温市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第55号	令和元年度東温市介護保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第56号	令和元年度東温市公共下水道特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第57号	令和元年度東温市水道事業会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第58号	東温市公共下水道事業等の地方公営企業法の適用に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第59号	東温市附属機関設置条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第60号	東温市議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第61号	東温市特別職の職員の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第62号	東温市職員の給与に関する条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
議案第63号	東温市ふるさと交流館条例の一部改正について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	可
議案第64号	(仮称)東温市総合保健福祉センター備品購入契約の締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可
請願第3号	日米FTA交渉は中止し、日米貿易協定の国会承認は行わないことを求める請願	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	×	×	不
請願第4号	東温市への場外舟券発売場建設に反対する請願書	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	不
請願第5号	東温市への場外舟券発売場建設に反対する決議を求める請願	×	○	○	×	×	×	×	○	×	○	×	○	×	○	不

議長のため採決には加わっていません

議長のため採決には加わっていません

表決・議決結果一覧表等

議会インターネット中継



東温市イメージキャラクターのとん

「市のホームページ」で議会開会中、生中継がご覧になれます。

また過去5年間の録画中継もご覧になれます。

(市ホームページアドレス)
http://www.city.toon.ehime.jp/gikai/

18(水)	12(木)	11(水)	10(火)	9(月)	6(金)	4(水)	3/3(火)	2/28(金)
閉会	福祉委員会	文教委員会	建設委員会	総務産業建設委員会(調査)	総務産業建設委員会(調査)	質疑	一般質問	一般質問
								開会

3月議会の日程(予定)

● 編集後記 ●

元号が「令和」に改まり、初めての新年を晴れやかに迎えのこりと存じます。私ども市議会議員の任期も残すところ10カ月余りとなりました。議会だより編集委員会も刷新され、新たな気持ちで、これまでの以上に議会の活動をより分りやすく、より身近に感じていただけるような紙面づくりをめざし、全力で取り組んでまいります。(丸山 稔)

発行責任者		編集委員		委員長		副委員長		委員	
相原眞知子		丸山 稔		安井 浩二		近藤千枝美		森 眞一	
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
亀田尚之	松末博年	細川秀明	渡部繁夫	森 眞一	近藤千枝美	安井 浩二	丸山 稔	相原眞知子	近藤千枝美